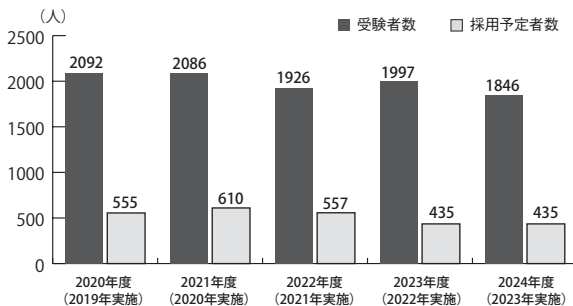


栃木県

面積	6,408 km ²
人口	1,882,342人
県の花	やしおつつじ
県の木	トチノキ
県の鳥	オオルリ

求める教員像	～自信と誇りをもって子どもたちと向き合える教師～ 人間性豊かで信頼される教師 幅広い視野と確かな指導力をもった教師 教育的愛情と使命感をもった教師
出願期間	公開日 4月4日(木) 電子申請 4月4日(木)～5月8日(水) 願書郵送 4月19日(金)～5月8日(水) (消印有効)
試験日程	1次試験 試験日 実技試験:7月6日(土) 学力試験:7月7日(日) 合格発表日 8月6日(火) 2次試験 試験日 8月22日(木)～25日(日) 合格発表日 9月27日(金)
年齢制限	昭和40年4月2日以降に生まれた者
募集教科	[小] [中] 国語, 社会, 数学, 理科, 音楽, 美術, 保健体育, 技術, 家庭, 英語 [高] 国語, 地理, 歴史, 公民, 数学, 物理, 化学, 生物, 音楽, 美術, 保健体育, 家庭, 福祉, 英語, 情報, 農業, 電気, 機械, 建築, 商業 [特] [養]
特記事項	<p>■特別選考 ①介護等の事由による退職者を対象とする一部試験を免除した選考 規定の要件を満たす者は、1次を免除。2次は実技を免除。②小学校における英語教育に係る特別選考(英語の免許による一部試験の免除) [小] 志願者で、[小]の免許状、かつ[中] 英語又は[高] 英語の免許状を、既に取得あるいは令和7年3月31日までに取得見込確実の者は、1次の教職・一般を免除。③特別支援学級担当の経験等により一部試験を免除した選考 [小・中]志願者で、[小・中]の特別支援学級担任を強く希望し、規定の要件を満たす者は、1次の教職・一般あるいは全部を免除。④スポーツの実績により一部試験を免除した選考 [中・高]志願者で、規定の要件を満たす者は、1次の教職・一般を免除(保健体育志願者は、実技も免除)。⑤教職経験(現職教諭等)により一部試験を免除した選考 県外の正規現職教員で、令和7年3月31日まで継続して3年以上の勤務が見込まれる者は、1次を免除。⑥前年度第2次試験Aランクにより一部試験を免除した選考 同じ教科等を志願する者は、1次を免除。⑦大学推薦特別選考 [小]志願者は、1次を免除。[高]情報志願者は、1次の教職・一般を免除。⑧特定の資格や経歴により一部試験を免除した選考 I.普通免許状等の所有の有無に関わらない選考 [高]福祉, 電気, 機械, 建築, 家庭, 情報志願者で、規定の要件を満たす者は、1次の教職・一般を免除。II.国際貢献活動等の経験による選考 直近5年間に、在外日本人教育施設等で通算2年以上の勤務経験がある者又は青年海外協力隊等として通算2年以上の派遣実績がある者は、1次の教職・一般を免除。⑨障害のある方を対象とした選考 障害の種類や程度に応じた配慮。障害の種類に応じて実技試験等を免除あるいは軽減。⑩講師等経験者特別選考 規定の勤務経験がある者は、1次の教職・一般を免除。⑪大学3年生を対象とした特別選考 1次の全てを受験。合格者は、次年度、1次を免除。</p>

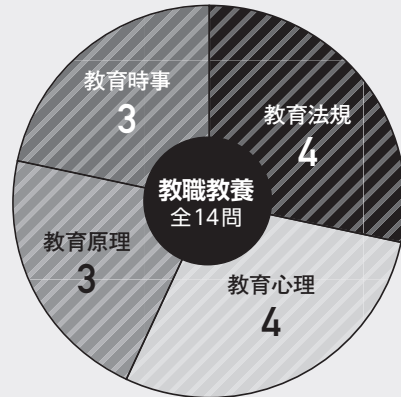
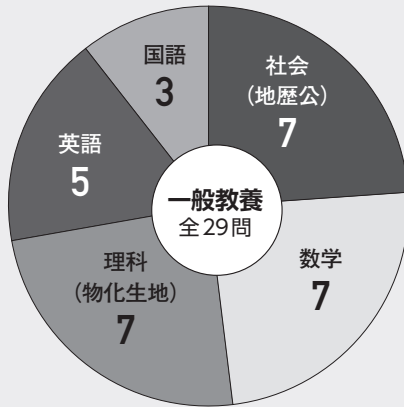
▼受験者数等推移



▼令和4年度 問題行動調査でのいじめの認知件数と不登校児童・生徒数

	小学校	中学校	高等学校
いじめ(件)	3,742	1,394	193
不登校(人)	1,563	3,604	1,216

2025年度(2024年実施)筆記試験DATA



- ▶ 教育法規は教育基本法
- ▶ 教育心理は発達理論
- ▶ 人文科学は国語(同音異義語, 現代文読解)と英語(会話文)

〈教職教養〉では例年、四択を中心とした択一形式で幅広い分野から出題されており、今年度も同様であった。

教育原理(特別支援教育, 学習評価等)のうち, 特別支援教育では, 障害者基本法から第1条の理解を問う問題が出題された。また, 交流及び共同学習を実施する際の観点を問う問題も出題されている。学習評価では, 「学習評価の在り方ハンドブック(小・中学校編)」(2019年)と「同(高等学校編)」(2019年)から学習評価を行う際に留意すべき事項に関する問題が出題された。

教育時事では, 「第3次学校安全の推進に関する計画」(2022年 閣議決定)から教員養成段階における学校安全の3領域の取り扱いに関する問題や「教育職員等による児童生徒性暴力等の防止等に関する基本的な指針」(2022年)に関する問題が出題された。

教育法規では教育基本法が必出である。今年度は, 第5条(義務教育)の条文から法律名を問う問題が出題された。また, 頻出の地方公務員法については第39

条(研修)の条文から法律名を問う問題がみられたほか, 学校教育法第12条と学校教育法施行規則第25条も出題されている。条文と法規名を関連づけておくことが求められる。

教育心理では例年, 幅広い領域から出題されており, 今年度は, 発達理論(ハヴィガースト, マズローの欲求5段階説), カウンセリング(ロジャーズ), 学習理論(プラトール)の理解を問う問題がみられた。重要な人物名や理論の特徴を押さえない。

〈一般教養〉のうち, **人文科学**では国語(同音異義語, 現代文読解)と英語(会話文)を中心とした出題となっており, 今年度も同じような傾向となった。**社会科学**では例年, 幅広い領域から出題されている。今年度は, 世界史(アメリカ史), 日本史(平安時代, 昭和時代), 地理(人口に関する指標, アフリカ), 政治(憲法), 経済(経済の仕組み)に関する問題が, それぞれ出題された。**自然科学**では例年, 数学と理科全般からまんべんなく出題されており, 今年度も同様の傾向であった。